

平成28年度
公益社団法人 伊勢市観光協会

事業報告書

公益社団法人伊勢市観光協会

会長 濱田 典保

公益社団法人伊勢市観光協会 平成28年度事業報告

平成28年は神宮参拝者数が882万人となりました。昨年度の838万人からの873万(前年比35万人増)で、記録が残る1895(明治28)年以降で4番目に多かったと公表されております。遷宮後に減少傾向にありました参拝者数を支え、新たな記録を作った大きな要因が5月に開催されました伊勢志摩サミットであります。昨年度に開催が発表されてから、メディアの注目を浴び、TVや雑誌など様々な分野で取り上げられ、平成25年の御遷宮以来の盛り上がりとなりました。

伊勢志摩サミット開催は、国家プロジェクトであり、世界に日本の伊勢志摩を知って頂く良い機会になりましたが、一方で「域内交通が警備の為遮断され動けなくなる」などの根拠のない噂が出るなどで一般観光客が出控えたりと、4月、5月の観光客数にも影を落とすことになりました。6月以降は瞬く間に回復を果たし、記録的な参拝者数となりました。

本年度の事業を振り返りますと、広報宣伝におきましては青年部が担当しております伊勢のファンクラブ事業やマスコットキャラクター事業が継続事業として情報発信を続けております。当会公式キャラクター「まいりんくん」はイベントや行事に年間を通じて大活躍しており、専用のホームページも運用を開始しました。

インターネット経由での情報発信では、ホームページやSNSなどでブログや動画を活用し旬な伊勢の情報を提供しました。ポストサミットで増加をした海外からのお客様対策として外国語ホームページの更新やパンフレット並びにマップの作成を行いました。外国人観光客誘致事業におきましては、3年次となる台湾の旅行博(ITF 2016)へ出展参加しました。特に北米地域の誘客調査事業では、ボストン日本領事館におけるイベントへ試験的に参加を果たしております。PR事業とリンクをする観光物産展も本年度も引き続き首都圏、北海道、九州など、全国規模の出展をしました。観光御師事業においては首都圏で2回の会合を開き、伊勢の現状を協議し口コミによる情報発信をお願いさせていただきました。

伊勢での行事に関しましては、日本観光祈願祭や越年行事をはじめとする通年行事を無事開催し、お越しになる皆様におもてなしとPRを行ないました。

中期政策検討部会による協会コンプライアンスの整備については、財務諸規定整備を行い、経理処理のガイドラインを示しました。

当協会としてはポスト伊勢志摩サミットの好状態を維持し、次年度の「お伊勢さん菓子博2017」に繋げ、遷宮後の落ち込みを押さえしていきます。そしてインバウンド対策については、懸案である受入側の対策強化も進め、十分なおもてなしができる環境を整備していきます。さらに広域地域連携にも注力し地域としての魅力を高め、情報発信、おもてなしなどの事業を続けていきます。

会員の皆様のご指導とご協力を宜しくお願いいたします。

なお、具体的な事業内容は次ページより。

<公益目的事業—旅客誘致事業>

1 広報宣伝事業(情報発信部会、青年部、事務局)

① インターネットによる情報の発信(IT委員会、事務局) ①+②で 8,267 千円

協会の HP(ホームページ)におきましては、見やすさと使いやすさ、情報の充実を図り、そして伊勢市における観光情報ネットワークを活用し、観光資源、観光スポット、行事、イベントなどの情報を効果的に提供しました。

7 地区の方々をお願いしているブログは、様々な伊勢の「旬」な情報を提供しています。

ホームページアクセス(ページビュー)数は、5,753,822 件(前年度 8,338,684 件)、1 日平均 15,764 件(前年度 22,845 件)と約 31%減少となりました。減少の要因として考えられるのが、三重県や伊勢志摩観光コンベンション機構が新たなホームページを作成したことでアクセスが分散化したことが考えられます。ツイッターのフォロワー数は 1,433 人(+56 人)で微増となりました。メールマガジン登録会員数(前年度 952 人)については、968 人と昨年に引き続き増加傾向となっています。

情報発信事業としての「伊勢乃国発ええじゃないか便」に関しては、インターネット通販と全国各地での観光PRと共に観光物産展を展開。併せて昨年度に引き続き首都圏のショッピングモールや大手スーパーなどでの観光PRと同時に観光物産展も実施しました。

協会公式キャラクター「伊勢まいりん」と伊勢市観光 PR キャラクター「はなてらすちゃん」を使ったラインスタンプも作成し、現在登録を進めています。

② 紙媒体による情報発信(パンフレット/リーフレット)

紙媒体として情報発信を担うパンフレット/リーフレットにおいては、行政と協働し9種類の着地型/発地型の観光パンフレットを作成し、観光案内所等で配布をしている。今年度は昨年度サミット対策にて増刷されたものの残数があるため全体的に少なめの作成量となりました。

No	事業パンフレット名	当初数量	最終数量	備考欄
1	ええじゃないかお伊勢さん	10,000	10,000	総合パンフ
2	ええじゃないかお伊勢さん概要版	60,000	30,000	総合パンフ(概要)
3	ええじゃないかお伊勢さん外国語版	15,000	0	総合パンフ(外語)
4	二見浦	10,000	10,000	二見リーフレット
5	市内 Map(てくてく)	200,000	100,000	基本地図
6	グルメマップ	10,000	10,000	お食事マップ
7	Map Of Ise	5,000	5,000	英語市内地図
8	ポケナビ※	45,000	0	ポケットリーフレット
9	Map Of Ise 簡易版	0	8,000	多言語市内地図

③ 伊勢市観光大使及び伊勢市観光御師(御師委員会) 1,168 千円

首都圏における情報発信を円滑且つ効果的に進めていく為に、協会は観光大使・観光御師制度を設けています。現在、下記の方々に委嘱をさせて頂いています。

首都圏では年2回御師にお集まりいただき会合を開催しております。第1回目(御師会議)の10月24日には都内のホテルにお集まりいただき、行政、伊勢商工会議所をお誘いし、伊勢の観光や地域振興について意見交換をしました。第2回目(伊勢観光振興交流会)は年が変わって2月6日に都内にて開催され、御師、その紹介者、伊勢市関係者、協会関係者40名が一同に会し、伊勢側のプレゼンテーションで伊勢観光の現状や伊勢市の現状等が報告され、その後の交流会議で様々な意見交換がなされました。

観光御師ネットワーク構築事業では、日本各地に伊勢との「繋ぎ役」を探し、伊勢とのネットワーク構築を目指しております。特に北海道札幌市においては地元の神輿連の方々と親交を深め、ネットワークのキーパーソン候補者の選定をしました。本事業に関わり、御師様のご紹介で伊勢にお越しになる方々にもアテンドなどを積極的に行い、人脈を広げてきました。

伊勢観光大使並びに観光御師名簿

	所 属	役 職	氏 名
観 光 大 使			野口 みずき 氏
	ファンタシウム		楠田 枝里子 氏
	トゥーフロント		夏樹 陽子 氏
観 光 御 師	株式会社ジェイティービー (元会長・社長)	相談役	舩山 龍二 氏
	共立メンテナンス株式会社 (岡三興業株式会社 元代表取締役社長)	西日本地区 特別顧問	松本 久雄 氏
	株式会社びゅうトラベルサービス (日本観光振興協会 元理事長)	顧問	見並 陽一 氏
	帝京平成大学 観光経営学科 (元加賀市長)	教授	寺前 秀一 氏
	一般社団法人日本交通協会 (株式会社日本旅行 元社長・会長)	理事長	金井 耿 氏
	三井住友信託銀行株式会社	特別顧問	村上 仁志 氏
	東勢会/瑞泉古酒の会 (セコム株式会社 元専務取締役)	会長	佐々木 信行 氏
	(澁澤倉庫株式会社 元社長・会長)		北村 敏夫 氏
東海旅客鉄道株式会社	特別顧問	松本 正之 氏	

④ **首都圏誘致事業**(全体事業)

※⑥観光PR事業へ統合しました

⑤ **外国人観光客誘致事業**(情報発信部会、青年部) **611 千円**

以下の海外でのPRをはじめとする事業を実施しました。

・**台湾ITFへの参加** (情報発信部会)

(平成 28 年 11 月4日～11 月7日)

台湾台北市で行なわれた『ITF 台北国際旅展 2017』へ参加。昨年は三重県がブース出展をしていたが、本年度はタイへシフトされるということで、中部広域観光推進協議会の昇龍道プロジェクトブースで参加することとなりました。今回も 60 カ国以上が出展する大きな国際トラベルフェアで来場者は4日間で凡そ 36.1 万人。昇龍道ブースは人気が高く、詳しい説明を求め人やパンフレットを求め人で大変賑わいました。今年度も昇龍道のミニステージを利用したイベントや JR 東海ブースのステージに協力し伊勢の PR を行ないました。

・**外客誘客調査事業**(事務局)

本事業は海外誘客事業の一環として、通常の誘客事業とは違う切り口を用いて伊勢への誘客を果たすべく調査事業を行なっております。世界各地の日系人をターゲットにし、自分のルーツである「日本」そして日本人の心のふるさと「伊勢」へと誘うことを第一の目的としています。現在、アメリカ合衆国において事業を行なっており、日系人、日系企業の多い東海岸マサチューセッツ州ボストン市においては、伊勢出身の方に依頼し、現地で開かれた天皇誕生日レセプションにブースを出展して伊勢の PR とアンケートを行いました。

次年度はボストンでのお祭りへの出展や、現地へ赴いての PR 等も視野に事業を行います。

・**長期滞在外国人観光客向けマップ作成事業**(事務局)

伊勢市との協働事業で、長期滞在をする外国人観光客向けに、ゴールデンルートからの誘客マップを作成しています。今年度は関西エリアからの誘客をターゲットとしたものを作成し配布した。完成したマップは伊勢市により関西方面のゲストハウスなどにも配置をして頂きました。

・**インバウンド対策委員会**(前サミット対策委員会)

伊勢志摩サミットが無事終了し、その影響を受け外国人観光客が増加するなか、役割を終えたサミット対策委員会がインバウンド対策に乗り出すことになり、インバウンド対策委員会として新たに誕生いたしました。

⑥ **観光 PR 事業**(情報発信部会、青年部、事務局) **3,850 千円**

各地へ出向き伊勢の観光情報の発信と観光物産展による収益事業と情報発信を行いました。本年度は以下の場所でPRを行ってきました。これに合わせ、PR時に配布するグッズの作製もしました。

<観光 PR キャラバン>

- ・平成28年5月3日(祝)・4日(祝)
博多どんたく (博多市)
- ・平成28年5月18日(水)・19日(木)
伊勢志摩サミット開催記念 お伊勢さんフェア (横浜市日吉)
- ・平成28年8月6日(土)・7日(日)
わっしょい百万夏まつり (北九州)
- ・平成28年10月20日(木)~26日(水)
お伊勢さんうまいもんフェア (横浜市日吉)
- ・平成28年11月5日(土)・6日(日)
たまプラーザ伊勢の観光PRイベント(横浜市)
- ・平成28年12月10日(土)・11日(日)
近鉄うまいもん列車 (大阪)
- ・平成29年3月10日(金)・11日(土)
みなとみらい観光 PR イベント (横浜市)
- ・平成29年3月11日(土)・12日(日)
伊勢の観光物産展 in 東京大神宮 (東京)
- ・平成29年3月14日(火)・15日(水)
伊勢市観光PR及び観光物産展 (札幌市)

⑦ **日本観光祈願祭及び日本観光交流・伊勢会議**(祈願祭実行委員会) **698 千円**

第12回日本観光交流・伊勢会議及び第49回日本観光祈願祭日本観光祈願祭は9月27日(火)に28名の参加を得て内宮にて開催、観光産業の健全な発展と旅行の安全を神宮へ祈願しました。

その後、おかげ横丁「神話の館」にてアソビュー株式会社 代表取締役 山野智久様より、インターネット時代における着地型旅行商品のあり方や方向性についてご講演をいただきました。続いて開催の交流会には約48名が参加し、意見交換や懇親を行ないました。

2 誘致接遇事業

① 観光案内所事業(事務局) 30,757 千円

外宮前、宇治山田駅、伊勢市駅、宇治浦田及び二見浦観光案内所について

案内所実績表

	外宮前	宇治山田駅	伊勢市駅	宇治浦田※	二見浦	合計
平成28年度 (うち外国人)	84,813 人 (1,676 人)	29,049 人 (891 人)	97,690 人 (4,410 人)	94,441 人 (1,039 人)	8,196 人 (381 人)	314,189 人 (8,397 人)
平成27年度 (うち外国人)	77,530 人 (1,336 人)	30,488 人 (973 人)	85,990 人 (3,694 人)	48,169 人 (405 人)	8,324 人 (281 人)	250,501 人 (6,653 人)
対前年比	109.39%	△95.28%	113.60%	196.06%	△98.46%	125.42%
(うち外国人)	125.44%	△91.57%	119.38%	256.54%	135.58%	126.21%

※宇治浦田案内所における統計の取り方が他の案内所と統一されたため、対前年実績値が大幅に上昇する結果となっております。当該所は駐車場トイレが併設されており、人の出入りが多い案内所となっております。

平成 28 年度は、5 月に伊勢志摩サミットが開催され世界中から注目を集めました。案内所においては、サミット対応ボランティアの受け入れをし、サミットに関わるお客様へのおもてなしに協力しました。海外からのお客様の動向に関しては、全体でも前年比 126.21%という結果になりました。それまで好調だったアジア、東南アジアからの観光客に加え、サミット参加国の欧米系が増加しております。半面、中国本土からの観光客は減少傾向となっております。日本人観光客につきましても、サミット効果により遷宮後の減少傾向を押さえる結果となりました。

伊勢市駅案内所と宇治浦田案内所においては、車いすの貸出をしており、バリアフリー観光の一端を担っております。

宇治浦田観光案内所につきましては、車(レンタカー)利用の外国人が増えるなど、外国人観光客が増加傾向にあり、案内実績も大きく上昇しました。

② 手荷物事業(事務局) 2,137 千円

来勢されるお客様への更なる便宜を図るために伊勢市駅と宇治山田駅において手荷物事業を実施しました。手荷物事業に付帯して伊勢市駅手荷物預り所建屋の管理(多目的トイレ、授乳室、休憩所など)、レンタサイクルの貸出、簡単な観光案内などを行っております。

伊勢志摩サミット効果による宣伝効果により、ポスト遷宮の予想数値を上回る実績となり、両駅合算の対前年比で、手荷物預り 21%増、ホテル配送 10%増、伊勢市駅では総取扱い金額で 3,641 万円、うち収益 413 万円、宇治山田駅では総取扱い金額で 618 万円、うち収益 74 万円となりました。

サミット開催月の 5 月と前月 4 月は一般客の足が遠のく形となり、対前年数値においてはマイナスを記録しておる箇所も見て取れます。宇治山田駅ではデータに顕著に表れております。

①伊勢市駅手荷物預り所

単位:個

	手荷物預り			ホテル配送		
	H28 実績	H27 実績	増減	H28 実績	H27 実績	増減
4月	1,223	1,088	135	1,159	1,155	4
5月	2,483	2,873	▲ 390	915	2,014	▲ 1,099
6月	1,141	814	327	1,336	1,186	150
7月	1,817	1,513	304	1,796	1,486	310
8月	3,590	2,167	1,423	3,101	2,294	807
9月	3,714	3,672	42	3,041	2,450	591
10月	3,531	2,280	1,251	3,209	2,304	905
11月	3,735	2,554	1,181	3,237	2,345	892
12月	1,560	1,288	272	1,439	1,212	227
1月	1,879	1,665	214	1,509	1,318	191
2月	1,913	1,731	182	1,681	1,667	14
3月	3,638	2,643	995	2,761	2,466	295
合計	30,224	24,288	5,936	25,184	21,897	3,287

②宇治山田駅手荷物預り所

単位:個

	手荷物預り			ホテル配送		
	H28 実績	H27 実績	増減	H28 実績	H27 実績	増減
4月	156	228	▲ 72	287	340	▲ 53
5月	161	363	▲ 202	218	574	▲ 356
6月	223	166	57	318	267	51
7月	283	336	▲ 53	354	424	▲ 70
8月	510	437	73	574	560	14
9月	367	368	▲ 1	562	664	▲ 102
10月	445	377	68	535	543	▲ 8
11月	437	407	30	589	606	▲ 17
12月	255	230	25	323	341	▲ 18
1月	330	318	12	335	382	▲ 47
2月	425	402	23	352	389	▲ 37
3月	565	516	49	673	680	▲ 7
合計	4,157	4,148	9	5,120	5,770	▲ 650

③ 「お伊勢さん観光ガイドの会」 460千円

(お伊勢さん観光ガイドの会運営委員会、おもてなし行事部)

外宮前観光案内所において、神宮のガイド「お伊勢さん観光ガイドの会」が常駐し、日々観光客のご案内に務めています。現在の会員数は47名。

本年度のガイド件数は3,441件(前年度3,200件)で、10,896人(前年度10,545人)の観光客を案内しました。件数ベースで約107%と増加に転じました。ポスト遷宮で参拝者が落ち着いてきていた中、伊勢志摩サミットの開催により再び神宮にスポットが当てられたことが大きな要因と考えております。

	案内件数	案内人数	件数 対前年比
H28	3,441	10,896	107%
H27	3,200	10,545	△84%
H26	3,771	11,981	△80%
H25	4,739	17,048	150%

本会においては雑誌、TV、ラジオ等多数のメディア取材にも協力しており、協会の情報発信の一翼も担っています。伊勢志摩学生団体誘致委員会の修学旅行へのガイド協力も積極的に行なっております。さらに、県のボランティア組織にも属し活動をするなど、他の団体等へのガイド協力や、講演などへの講師としての派遣などの協力も行っています。

平成28年度は創立20周年を迎え、記念事業として記念誌を発行し、式典と記念講演(講師神宮司庁 音羽悟 様)を行いました。本式典に先だち神宮より本会20年間の功績に対し顕彰状を拝受しました。

※注1 その他誘客事業費計 3,026千円

以後の説明で「※その他誘客事業に含む」とある場合は上記事業費に含まれております

④ レンタルサイクル事業(事務局、青年部) 2,360千円

48台の自転車(外宮前11台、宇治山田駅5台、伊勢市駅32台)を維持管理し、運用しています。本年度貸出件数は4,351台(外宮前案内所1,393台、宇治山田駅案内所715台、伊勢市駅2,243台)となりました。前年度4,135台から5.22%の微増となりました。

今年度は平成27年度公益事業余剰金を使用し新規に自転車15台と電動アシスト自転車を5台試験導入しました。年度末の3月より自転車の入れ替えを始め、電動アシスト付き自転車の本格的試験運用は平成29年度になる予定。

【月別レンタサイクル利用者数表】

		外宮前 観光案内所	宇治山田駅 観光案内所	手荷物 預かり所	計
年度	月	台数	台数	台数	台数
H28	4月	86	63	177	326
	5月	143	72	225	440
	6月	47	42	120	209
	7月	87	61	181	329
	8月	164	101	294	559
	9月	72	56	168	296
	10月	134	63	218	415
	11月	117	59	185	361
	12月	133	46	174	353
H29	1月	138	59	168	365
	2月	102	33	93	228
	3月	170	60	240	470
合計		1,393	715	2,243	4,351
参考 H27年度実績		1,439	623	2,073	4,135

⑤ 御遷宮対策事業(おもてなし行事部、事務局) ※その他誘客事業に含む

御遷宮委員会の一員として、次回の第63回神宮式年遷宮へ向けて様々な協議を進めております。H28年度は次世代継承を基軸に活動をし、各奉曳団に呼びかけ、内宮への木遣りの奉納をさせて頂きました。さらに広報誌の発行や伝統行事の継承を軸に民俗行事の遂行への協力をしました。

⑥ 公益社団法人伊勢志摩観光コンベンションへ機構への協力

※その他誘客事業に含む

・伊勢志摩学生団体誘致委員会(事務局)

伊勢志摩地区への修学旅行の誘致を行なう委員会へ参画し、伊勢市でのお出迎え等に協力した。

・伊勢志摩フィルムコミッション(事務局)

伊勢志摩地区でのテレビ取材や映画撮影等の誘致、撮影協力を行なう組織に参画し、情報の共有、撮影への協力等を行なった。遷宮ということで取材依頼が非常に多く、対応に苦慮する事態にまでなりました。

・伊勢志摩キャンペーン(事務局)

伊勢志摩観光コンベンション機構の広域観光キャンペーンに協力。

⑦ 伊勢商工会議所及び伊勢市との協力事業 **※その他誘客事業に含む**

- ・中心市街地活性化協議会への参画
- ・DMO への参画
- ・伊勢まちづくり会社への参画
- ・YOIMACHIバル開催協力
- ・参宮木札配布への協力
- ・伊勢まち ちよいぐるへの協力
- ・常若婚への協力

⑧ 各種大会の接遇(事務局) **※その他誘客事業に含む**

下記の各種大会に歓迎看板または四角塔の掲示を行った。

- ・神宮奉納社会人野球大会
- ・神宮奉納相撲大会
- ・全日本学生弓道選手権大会
- ・全日本学生対抗駅伝大会
- ・伊勢神宮新穀感謝祭
- ・お伊勢さんマラソン大会

3 観光イベント事業

① 春まつり(おもてなし行事部) **2,747 千円**

今年度は、4月1日から10日の期間に宮川堤にて開催。また、期間中には桜のライトアップをしました。4月1日には市内の桜関係者を招いて桜びらき神事を宮川堤で斎行しました。

② 第12回日本観光交流・伊勢会議及び第49回日本観光祈願祭

(祈願祭実行委員会)※詳しい内容は、1 広報宣伝事業 ⑦を参照してください。

③ 二見浦海水浴場 浜開き式(おもてなし行事部) **※その他誘客事業に含む**

7月9日(土)に、海の安全と海水浴場の安全を祈願する神事を、伝統ある二見浦海水浴場にて執り行いました。

④ 第64回伊勢神宮奉納全国花火大会 **※その他誘客事業に含む**

(おもてなし行事部)

7月16日(土)に開催され、今年度の観客来場数約230,000人でした。協会は出務対応で本部対応、花火師対応、観客席対応などで協力しました。

⑤ 観月茶会(おもてなし行事部) **※その他誘客事業に含む**

9月15日(木)に開催された。お茶券500枚を配布し、神宮観月会にお越しになるお客様や観光客などに東の間の中秋の名月と共に抹茶を楽しんでいただいた。

⑥ 第19回伊勢冬至祭(おもてなし行事部) **※その他誘客事業に含む**

12月21日(水)。本年は晴天に恵まれ、綺麗に宇治橋の上に日の出を見ることができました。日の出を見に来られた方、先着約300名に冬至ぜんざいの振る舞いを行い、伊勢の冬至のおもてなしを体感していただきました。冬至祭に併せて、ゆず15Kg、かぼちゃ30kgを神宮へ奉納しました。

- ⑦ 参宮木札の配布(外宮前観光案内所、事務局) **※その他誘客事業に含む**
 国の補助事業「地方の元気再生事業」の一部として始まり、今年で9年目となる参宮木札事業に協力しました。外宮前の案内所においても配布を協力しました。(伊勢志摩キャンペーンのものと、参宮木札事業本体のものがあります。)
- ⑧ 年越餅つき行事・年越餅の贈呈(おもてなし行事部) **470千円**
 12月26日(月)、外宮衛士見張所付近において、猿田彦神社宮司様により神事を行うと共に、市長をはじめとする関係者で餅つきを実施、外宮に奉納するほか見学者に振るまいをしました。
 また、12月31日(土)午後11時から元旦未明にかけて、外宮衛士見張所付近並びに内宮参集殿付近参道にて年越詣の参拝者に年越餅各4,000個を贈呈しました。
- ⑨ 「伊勢楽市」事業への協力(事務局、青年部) **※その他誘客事業に含む**
 本年度の伊勢楽市を、春季6月4日~5日、秋季11月5日~6日(天候に恵まれた)の2回開催し観光客を始め市内外からの多数の来場があった。伊勢志摩の産物にこだわり、観光客のみならず伊勢市民にも喜んでいただいています。各種団体のPRブースを配置するなど外宮前の活性化に貢献しました。
- ⑩ おもてなし講習会(事務局、青年部) **※その他誘客事業に含む**
 年3回おもてなし研修会を開催し、会員を中心とした観光業従事者に対しマナー講習やバリアフリーに対する知識等の向上を図りました。

4 協会が協力した諸行事 **※その他誘客事業に含む**

本年度、下記行事に後援及び協賛した。

- ・猿田彦神社御田祭及び七五三祭
- ・倭姫宮春・秋の例大祭
- ・御幣鯛
- ・高柳の夜店
- ・おかげ横丁夏まちまつり
- ・二見大祭しめなわ曳
- ・さるめ書道展
- ・初穂曳
- ・伊勢まつり
- ・伊勢まつり菊花展
- ・お伊勢さんマラソン大会
- ・神宮奉納大相撲
- ・初午祭
- ・外宮さんゆかたで千人お参り
- ・伊勢の伝統の能楽まつり
- ・来る福招き猫まつり
- ・一色神社例祭奉納能
- ・おひなさまめぐり in 二見
- ・伊勢薪能
- ・伊勢神宮奉納書道展
- ・沢村榮治生誕100周年記念事業
- ・全国自治体サッカー大会
- ・その他

5 市受託事業

① 観光案内所の運営

宇治山田駅構内案内所、伊勢市駅構内案内所、宇治浦田案内所、外宮前案内所、二見浦案内所において案内所員 10 名により案内業務を行いました。二見浦案内所に関しては、二見旅館組合に委託しております。

※案内実績については「2 誘致接遇事業 ①観光案内所事業を参照

② 二見浦海水浴場 3,729 千円

当協会においては、日本初の公認海水浴場である二見浦海水浴場を伊勢市より受託運営している。

本年度の入り込みは、開催期間 7 月 9 日～8 月 31 日の合計で、8,540 人で対前年(11,430 人)に比べ 2,890 人の減(74.71%)という結果でした。減少の要因としては、昨年引き続き天候が不順であったことの影響が考えられます。

③ 伊勢市駅手荷物預り所運営

お客様の便宜を図り「手ぶら観光」を推進するために、伊勢市より受託運営しております。

※詳細は、2 誘致接遇事業 ②手荷物事業を参照

※注2 観光資源開発事業費計 4,041 千円

以後の説明で「※観光資源開発事業に含む」とある場合は上記事業費に含まれております

6 青年部活動

※注2 観光資源開発事業費計 4,041 千円

① 伊勢のまち発展委員会

平成 28 年度の当委員会は、伊勢の食文化事業、観光マップ作成事業を主として、青年部手帳の作成、名簿の管理、名刺の作成、ええじゃないか伊勢の青年部ページの校正を行いました。また、研修視察や家族会など行いました。

<観光マップ作成事業> ※観光資源開発事業に含む

前年度に作成したマップの修正・増刷と新たに餅街道、よいまち、みつだんごマップを作成した。

<28年度総発行部数 19,500部>

たい焼きマップ	1,500部
うなぎマップ	2,000部
伊勢茶	1,000部
カフェ(外宮)	2,000部
カフェ(内宮)	3,000部
海鮮丼	3,000部
朝めし	2,500部
洋スイーツ	1,500部
新マップ	各1,000部

- ・観光マップWeb化事業 観光マップのWeb化を行った。
- ・伊勢の食文化事業 観光マップ作成の為に題材として利用すると共に新たな食文化の調査も行った。
- ・青年部手帳の作成 3月100部発行
- ・名簿の管理 新入会員の名簿の追加作業
- ・名刺の作成 役員の名刺作成
- ・ええじゃないか伊勢 青年部ページの作成を行った。
- ・7月例会 「御座白浜」参加者 22名
- ・9月例会 「研修視察～熊本～」参加者 30名
- ・2月例会 「伊勢の食文化～菓子編～」参加者 14名

② 伊勢PR委員会

今年度は、市役所および他団体と連携し、伊勢の観光PRを積極的に行いました。観光PRキャラバン事業では日本各地でPRキャラバンを行い、情報発信に努めました。この際、PRキャラバンの効果を推し量ることを目的とし、記念品引換券の発行も行いました。伊勢のファンクラブ事業では、ファンクラブ会員に伊勢の情報を発信していただく仕掛けの構築に努め、ハッシュタグの活用や会員限定イベントを企画し、会員限定イベントでは参加者の方にSNS等を通じた情報発信を行っていただきました。さらに、ええじゃないか便事業では、新たな商品募集を行い伊勢の産品の充実を図るとともに、頒布会を立ち上げ、物販を通じた伊勢のPRを行いました。

また、担当例会では講師をお招きして意見交換会などを行い、様々な角度から伊勢を見つめなおし、改めて伊勢のもつ素晴らしい魅力を再認識いたしました。以下、詳細を記載いたします。

●事業報告

◆観光 PR キャラバン ※観光 PR 事業に含む

- ・平成28年8月6日(土)・7日(日)
わっしょい百万夏まつり (北九州)
- ・平成28年11月5日(土)・6日(日)
たまプラーザ伊勢の観光PRイベント (横浜市)
- ・平成29年3月11日(土)・12日(日)
伊勢の観光物産展 in 東京大神宮 (東京)

・来訪記念品引換券の発行

各PRイベントにおいて、ブースに立ち寄った方を中心に、外宮前観光案内所にて記念品(参宮木札)と引き換えのできる来訪記念品引換券を配布しました。引換券にはPRイベントの日付を記入しており、どのPRイベントで配布した引換券かわかるようになっています。この試みを通じて、PRイベントの効果を推し量りました。

◆ファンクラブ事業 ※観光資源開発事業に含む

- ・PRキャラバンにおけるファンクラブPR活動
- ・ファンクラブ通信の発行
(平成28年度春・初夏号、夏号、秋号、冬・春号 計4回)
- ・ファンクラブHPの運用
- ・ファンクラブ会員証を使った特典の実施(伊勢あんちょこの引き換え)

ファンクラブ会員証を使った特典として、外宮前観光案内所で会員証を提示すると『伊勢あんちょこ』をプレゼントするという企画を実施しました。この際にファンクラブ会員のどの程度の割合の方が伊勢に来勢しているのかなどのデータを取り、今後のファンクラブ運営の参考としました。

・着物で伊勢神宮ご参拝ツアーの実施

平成29年3月4日(土)・5日(日)に、『着物で伊勢神宮ご参拝ツアー』を開催いたしました。伊勢のファンクラブ会員内の希望者から抽選にて4組8名様を当選者とさせていただきます。参加者の方には伊勢まで来ていただき、御朱印帳作成ワークショップ、御朱印に関する講話と御朱印巡り、旧御師丸岡邸見学を通じた伊勢の歴史を学び、当時の食事の体験、着物での伊勢神宮参拝などを体験していただき、楽しみ感じたことを SNS 等を通じて参加者周囲の方に発信していただきました。また、青年部員との交流などを通じて、参加者の方がどのように伊勢を見ているかなど、普段のPR活動ではなかなか得難いご意見をうかがうことができました。

◆ええじゃないか便事業 ※物品販売事業に含む

・ええじゃないか便商品募集

新たな商品を募集し、14点の商品を追加しました。

・頒布会の実施

新たに頒布会を企画し、購入者の募集を開始しました。

◆担当例会月

・6月例会 「観光地としての防災に関する講話および伊勢市防災センターの見学」

講話「観光地としての防災に関する講話」

講師：伊勢市危機管理課防災担当者

・8月例会 講演「菓子博のPR戦略に学ぶ」

講師：第27回全国菓子大博覧会・三重 実行委員会事務局

おかげさまグループ 広報・宣伝チーム 五十嵐 寛様

・12月例会 冬至祭参加

③ ECO 輪太委員会 ※レンタサイクル事業に含む

今年度の主な事業内容は、10月2日に今回で5回目となるサイクルフォトイベント「伊勢 MY りんで乗って撮って～其の貳～」を実施させていただきました。市内を自転車でめぐることにより、車では気づきにくい伊勢の魅力を感じていただくためシリーズ化している企画です。また、イベント内でインGRES(スマートフォンオンラインゲーム)のミッションも取り入れさせていただきました。

年度末には、レンタサイクル用の自転車を新たに20台(シティサイクル15台、電動アシスト自転車5台)を購入させていただきました。

●事業報告

◆サイクルフォト事業「伊勢 MY りんで乗って撮って～其の貳～」

実施日：平成28年10月2日(日) 午前8時～午後15時

※当初予定は9月18日(日)だったが、天候不順のため延期(参加予定人数約70名)

集合場所：伊勢市駅前広場(JR側)

参加人数：42人(レンタサイクル9台)

市内を自転車でめぐることにより、車では気づきにくい伊勢の魅力を感じていただくためシリーズ化して企画しております。伊勢市内に18箇所の撮影スポットを設け、条件を満たした写真を撮影してくるという企画内容です。ゴール後は抽選会を開きイベントを盛り上げることが出来ました。

◆イングレス事業

サイクルフォトイベントにイングレスのミッションを要素として追加してみましたが、企画案が弱かったせいか、参加人数は0という結果に終わってしまいました。

◆レンタサイクル事業

28年年度末に自転車を新たに20台(シティサイクル15台、電動アシスト自転車5台)購入させていただきました。伊勢市駅手荷物預かり所、外宮前案内所、宇治山田駅案内所でマックス45台の自転車が保管できる状況です。そのため、既存の自転車20台と入れ替えで新しい自転車を入れるため余剰自転車が発生しました。また、自転車の保管場所に屋根がない、自転車置き場が遠いため、案内所職員が見に行くことが困難であるなど課題が出て来ました。

それらの課題をクリアしていかないとレンタサイクル事業の発展を妨げる結果になりかねませんので、次年度の課題としてレンタサイクルステーションの自転車保管場所をしっかりと確保すること、管理体制をしっかりとすること、また余剰自転車を無駄にしないために新たなレンタサイクルステーションを検討するなどの必要性を感じました。

◆担当例会月

・4月例会 イングレスの体験と、辻隆将氏による「イングレスの観光誘致の可能性について」

・11月例会 講演「写真家から見た三重の魅力について」
講師:写真家 UKPHOTO 代表 中西学氏

・1月例会 新年観光交流会

④ほないこ！まいりんくん委員会

●概要

- ・事業名 キャラクター事業
- ・実施期間 平成28年4月1日(水)～平成29年3月31日(木)
- ・事業目的 伊勢市観光協会公式キャラクター「伊勢まいりんくん」を着ぐるみにして、伊勢のPRイベント等へ参加させることで幅広い客層の注意を引くことを目的とする。

●事業報告

本年度における主なキャラクター事業の活動は次の通りです。

(1)伊勢市観光協会主体 及び 依頼のあったイベントへの出演

今年度は 24 箇所イベント等に出演いたしました。

その際は伊勢情報の頒布物等を配布し、PR活動に努めました。

(2)JIMOキャラ総選挙・ゆるキャラグランプリへのエントリー及び

伊勢のPR活動

東海地方のキャラクターイベント「JIMOキャラ総選挙 2016」と 全国のキャラクターイベント「ゆるキャラグランプリ 2016」にエントリーし、認知度を高めるとともに関連イベントでPR活動を行いました。

(3)伊勢まいりんくんの着ぐるみ(3体目)・ウェブサイトの作成

①伊勢まいりんくん着ぐるみ作成 ※観光資源開発事業に含む

伊勢まいりんくんの1体目が損傷等が大きいため、3体目の作成を入札にて行いました。

これまで活動をしてきた中で気づいた点を反映し、より快適に活動を行えるよう改良しました。

②伊勢まいりんくん公式サイト作成

※インターネットによる情報の発信事業に含む

まいりんくんの活動を通じて伊勢の魅力を発信できるよう、伊勢まいりんくん専用の公式サイトを入札により作成いたしました。facebook ページとの連携も行い、より多くの方に閲覧していただけるようにしています。

↓公式サイトアドレス(「伊勢まいりんくん」で検索でも上位に表示されます)

<http://www.ise-kanko.com/mairinkun/>

●今後の展望

「伊勢まいりんくん」としての認知度が高くなり、観光協会の自主イベントの他に、他団体から出演依頼を受けPR活動を行う機会も増えてきました。またPRグッズの種類を増やし、さらに認知度を上げていきます。

平成 29 年度は 11 月に桑名で「ゆるキャラグランプリ」が開催されるため、すでに近隣自治体のキャラクターとの連絡も取り合い協力し合うことで伊勢志摩のPRを行うよう進めています。

<収益目的事業—賃貸事業> 897 千円

- ・ 伊勢市駅前ビル 鉄筋 3 階建て
 - ・ 風餐亭 1F 研修室
- 伊勢市駅前ビルを賃貸物件として運用、風餐亭1F 研修室は貸し会議室として運用しています。

<収益目的事業—物品販売事業> 18,023 千円

「伊勢乃国発ええじゃないか便」に関しては、インターネット通販と全国各地での観光物産販売を展開。情報発信という目的において非常に有効な手段と考える。伊勢市ふるさと応援寄附金の返礼品に関しては件数の増加による事業の幅が広がってきました。

平成 28 年度は 21,070,456 円(前年 16,582,550 円、対前年度 127.06%)の総売り上げがありました。伊勢の特産品を広く知らしめると共に、伊勢への誘客 PR を効果的に実施してきました。平成 29 年度 5 月に開催される「お伊勢さん菓子博」のチケット販売も開催協力として実施しました。

<収益目的事業—その他(会員互助事業)> 122 千円

- ① 広報誌「ええじゃないか伊勢」の発行(情報発信部会、総務委員会、青年部)
情報発信部会及び青年部総務委員会の共同製作の会員広報誌として第 33 号を 6 月 10 日に 500 部発行しました。

<法人事業—中期政策検討部会> ※法人事業(会計)に含む

本部会では協会運営に関する事項やコンプライアンス対応を協議及び実施しております。本年度は事務諸規程の整備を完遂しました。伊勢市ふるさと応援寄附金や JAL、三重県、伊勢市がタイアップした事業「常若婚」への協力も行いました。